

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2016年
秋号
vol.11

INDEX

- ◆全国障害者スポーツ大会
名古屋市選手団健闘!!
- ◆名古屋市障害者スポーツセンター
指定管理者の候補者に選定されました
- ◆居場所・サロン事業報告
- ◆退院支援部門の体制整備
- ◆機能連携連絡協議会を開催しました
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



イベント報告

第16回 全国障害者スポーツ大会 名古屋市選手団健闘！！

10月22日（土）から24日（月）の3日間、岩手県で第16回全国障害者スポーツ大会（2016希望郷いわて大会）が開催されました。

この大会は、毎年国民体育大会の開催県が持ち回りで開催しており、その大会の後に行われています。

対象者は、身体障害者（一部内部障害者の参加あり）、知的障害者、精神障害者（バレーボールのみ）で、障害の程度や年齢により障害区分が細かく

分かれています。個人競技6競技（陸上競技・水泳・卓球・アーチェリー・フライングディスク・ボウリング）と団体競技7競技（車椅子バスケットボールなど）が行われました。

名古屋市選手団は、社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会理事長仁木雅子氏を団長として選手41名、役員26名、合計67名の選手団を編成し、大会に参加しました。



開閉会式会場（北上総合運動公園北上陸上競技場）は、緑豊かな環境となっていました。派遣期間中はさわやかな秋晴れでしたが、寒さと強風に悩まされることが多く、選手の体調管理には特に注意し役員全員でサポートしました。

結果は、金メダル14個、銀メダル10個、銅メダル9個、計33個のメダルを獲得することができました。バレーボール（精神障害）では初の決勝進出を果たし、準優勝という快挙を見せてくれました。多くの選手が自己ベストを更新するなど、どの選手も健闘する姿が印象的でした。



大会公式サイトではさまざまな情報が掲載されていますので、ぜひ一度ご覧ください。

大会公式サイトURL <http://www.iwate2016.jp/taikai>

名古屋市障害者スポーツセンター 指定管理者の候補者に選定されました

平成28年9月23日、当事業団が名古屋市障害者スポーツセンターの指定管理者（平成29年度から5年間）の候補者に選定されたと、名古屋市から通知がありました。11月に行われる名古屋市会での指定管理者指定の議決を経て、具体的な事業実施の準備を行います。

次期指定管理期間（平成29年度から平成33年度）における提案のポイントは以下のとおりです。

①職員体制の確保

利用者数の増加や利用者の状態像の変化などに的確に対応するため、職員体制を確保し、利用者一人ひとりの障害特性に応じた、安全なスポーツ活動を提供していきます。

②地域での障害者スポーツ拡充

障害者の利用に関する相談窓口の開設や、スポーツ教室の支援や研修会の開催を通じ、地域のスポーツセンターなどと連携して、障害者の方々が安全に安心して活動できる場の拡充につなげます。また、地域における障害者スポーツをサポートするための人材を育成していきます。

③東京2020パラリンピック競技大会を見据えた障害者スポーツの振興

地域の公共スポーツ施設などと連携し、障害者スポーツの紹介や体験会を開催し、障害者スポーツをより身近なスポーツとして捉えてもらうとともに、障害の理解と併せて障害者スポーツの振興に努めます。また、各種競技団体が行っています、選手強化などへの支援や地域の障害者スポーツ教室への支援を行い、障害者の方々の住居区や生活圏に根ざした活動、障害者スポーツの定着や活性化を図っていきたくと考えています。

④各専門職と連携した質の高いサービスの提供

当事業団の理学療法士、リハビリテーション工学技師、義肢装具士による障害者スポーツ相談や精神保健福祉士によるこころの健康相談の実施など、各専門職と連携を図りながら、質の高いサービスをご提供することによって、利用者一人ひとりの障害特性やご要望に応じた、きめ細やかな対応に取り組みます。

名古屋市会での決議後は、今まで15年以上にわたる施設の管理運営ノウハウと、当事業団が持ち備えている専門性を融合し、名古屋市における障害者スポーツの拠点として、障害のある方々が健康で豊かな生活を送ることができるよう、常に利用者の目線で、利用者の障害特性を理解・把握しながら、次期指定管理期間を担えるよう準備していきたくと考えています。

居場所・サロン事業報告



「聞こえ」について -耳がとおいと感じたら-

9月

9月13日（火）に、福祉スポーツセンターで、地域にお住まいの方を対象（事前申込制）に、居場所・サロン事業『「聞こえ」について』を開催しました。

愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科の吉川雅博教授を講師にお招きし、高齢者の聞こえの特徴・補聴器の機能・周囲の人の話しかけ方のコツや聞こえを補う道具について、わかりやすく、ユーモアを交えてお話しいただきました。

質疑応答の時間には、参加者から「聞こえ」に関する悩みや補聴器に関する質問がありました。「聞こえ」に関する相談は個性が高く、個人の状況をしっかり把握することや周囲の方の理解やサポートがとても重要であることを改めて感じました。



▲愛知県立大学教育 福祉学部 社会福祉学科 吉川 雅博教授

10月

平成28年度 市民公開講座

10月12日（水）に名古屋市総合リハビリテーションセンターで、看護部主催、居場所・サロン事業共催「平成28年度市民公開講座」を開催しました。「嚥下」をテーマに、第1部は名古屋市厚生院附属病院の摂食嚥下障害看護認定看護師 瀬木あゆみさんによる「上手にゴククン飲み込みの科学」の講義、第2部は当事業団の大島管理栄養士による「ムセにくい食事の工夫」の実演を行いました。

とろみ水分やソフト食の摂取体験、食べやすい食材の切り方やペットボトルでの食べ物が喉を通る様子の観察で、参加者（53名）に「嚥下」についてより理解していただけたと感じています。

今後も当センターの経験・知識を、地域の皆さんに役立てていただけるような企画をしていきたいと考えています。



▲名古屋市厚生院附属病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 瀬木 あゆみさん（写真上）
▲当事業団 大島管理栄養士（写真下）

障害者スポーツについて

11月

11月2日（水）に、イオン八事店のイベントスペースをお借りして、居場所・サロン事業「障害者スポーツについて」を、なごや福祉用具プラザの福祉用具・介護ロボット展示&体験会と共同で開催しました。

当日は、平日の昼間の開催ということもあり、午前中はご年配の方を中心に、午後からはご年配の方に加えて子ども連れの方が来場されました。福祉用具のブースから体験コーナーへ行く方や、逆にスポーツ体験をされ福祉用具のブースへ足を運ぶ方もいらっしゃいました。

メイン企画では、来場者の皆さんにサウンドテーブルテニス（音の出る球を台上で転がして打つスポーツ。視覚障害者が対象だが、アイマスクをすることで誰でも楽しめる）の体験をしていただきました。約30名の方が体験され、参加賞として景品やお菓子をお配りしました。

体験された方は、音の出る球や通常の卓球と異なる点に興味を持ったようで「アイマスクをすると球の大体の位置はわかるけれど、打ち返すのが難しいね」「この球はどこで売っているのですか」という感想をいただきました。

他にも北京パラリンピックの写真パネルの展示や、会場スクリーンでの障害者スポーツの紹介DVDの上映、競技用車いすの展示・試乗体験などを行い、来場者の皆さんに障害者スポーツの一端に触れていただくことができました。

今回の開催にご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。



▲サウンドテーブルテニス体験



▼北京パラリンピック パネル写真展示



▲障害者スポーツの紹介DVD上映



退院支援部門 の体制整備



平成28年度の診療報酬改定で、地域包括ケアシステム推進の観点から、病院の機能分化を促す一方で、円滑な連携を構築するために、看護師や社会福祉士専任配置などの体制を評価する「退院支援加算」が新設されました。

それを受け、当センターの総合相談の窓口である相談課に、①他院受診対応・連携病院との連携 ②退院支援 ③多職種の協働等を主な役割とする退院支援専従看護師、専任社会福祉士を配置しました。そして、退院支援の必要書類や流れ等、附属病院の退院支援部門としての体

制を整え、同年10月から「退院支援加算2」を算定するに至りました。

退院支援の体制を整えたことで、他の医療機関との連携、医療情報や連携先看護師との情報交換や当センターの病棟とのやり取りがよりスムーズに行われるようになりました。

今後も、総合相談室ではより多くの関係機関と連携し、在宅支援、転院等の退院先相談、医療福祉相談の機能を強化していきたいと考えています。



機能連携連絡協議会を開催しました



11月7日(月)に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、第22回機能連携連絡協議会を開催しました。この協議会は、名古屋市医師会と当センター附属病院との機能連携を促進する目的で、毎年開催しています。

当日は、名古屋市医師会理事、地域5区医師会会長にご出席いただき、当院委員との間で、①当院の現状報告 ②診療予約システムの開始 ③放射線診断科検査予約の紹介について報告・意見交換がなされました。

イベント情報

第10回 障害者スキー体験会

日程：平成29年2月26日（日）

対象者、申込方法等の詳細は、事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370



障害者スポーツセンターからのお知らせ

館内床面改修工事、屋上屋根防水工事および外壁補修工事に伴う施設利用制限について

- ・平成29年1月から平成29年3月末まで、全ての施設の利用ができなくなる予定です。
- ・平成28年11月中旬から、建物周りの足場組み作業のため、駐車場の一部分の通行ができません。

詳細は、決まり次第事業団ウェブサイトでお知らせいたします。

利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、工事期間中は名古屋市と連携を図り、安全第一で施設修繕を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



なお、工事期間中、センター外で行う教室等を予定しています。

日程・場所等詳細は順次事業団ウェブサイトでお知らせいたしますので、ご覧ください。

●後期家族介護者教室「便利な道具とらくらく介護」

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内西部・南部・中部で実施。各4回。

- ◆ 腰のらくらく ～介護のコツと移乗を助ける介護ロボット～
- ◆ 食事のらくらく ～安全に飲み込む工夫と食事づくり～
- ◆ トイレのらくらく ～間違えないオムツのあて方・選び方～
- ◆ 道具でらくらく ～生活を便利にする道具のお話と製作～
- ◆ 運動でいきいき脳 ～伸ばせ健康寿命～
- ◆ 運動でらくらく ～健康づくりのお話と毎日できる運動～



日時、申込方法等の詳細は、事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

嘱託職員

生活支援員補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

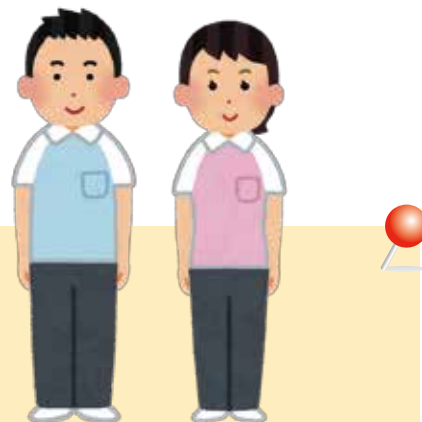
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>



事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710